

夢いっぱい 入学式

平成28年度当初予算決まる 2
予算審査報告 4
7人が町の課題を問う 10
夢に向かって 20

富士川町議会

検索

山梨県富士川町議会



前年比2.9%増

平成28年度

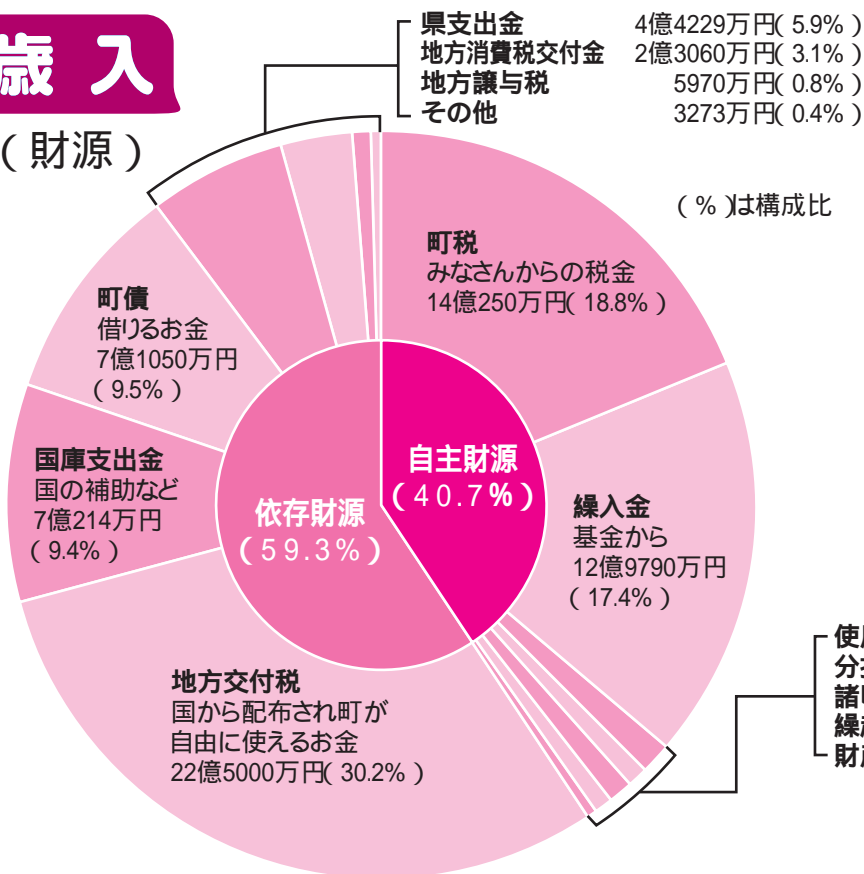
一般会計予算

74億6414万円

～住みよい町、住みたくなる町を目指して～

歳入

(財源)



平成28年3月議会が3月11日から25日まで開催された。平成27年度補正予算、条例制定・改正、28年度一般会計当初予算などの議案を審議し、全て原案のとおり賛成多数で可決した。なお、当初予算については、予算特別委員会を設置し二分会に分かれ審査し全体会で審議した。

町民1人あたり
約47万円！

【 】内の数字は
全人口15,887人で割った
町民1人あたりのお金です。

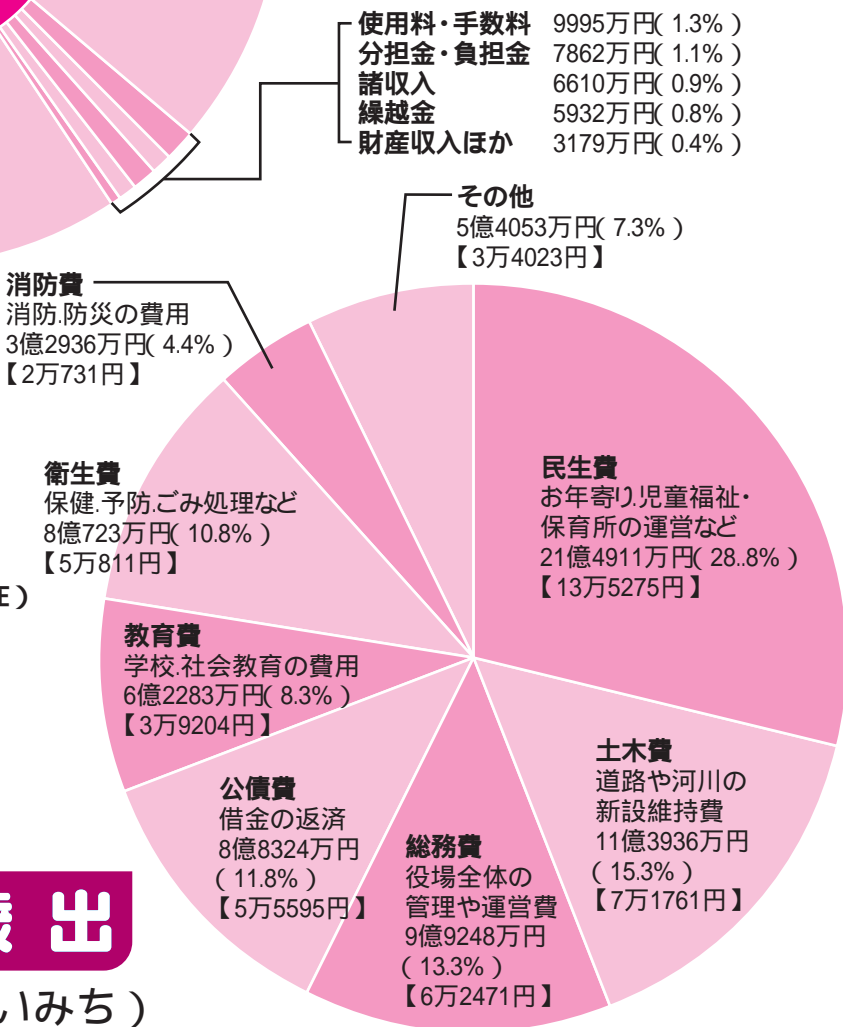
(H28.3.1現在)



穂積柚太郎と柚香ちゃん
(穂積地区のキャラクター)

歳出

(使いみち)



新年度の注目事業



導入が決まったタブレット端末

- ・ 議会用タブレット端末導入費用 184万円
- ・ ホリデーバス運行業務 957万円
- ・ 旧五開小学校浄化槽布設替工事 859万円
- ・ かじかの湯廊下板貼工事 500万円
- ・ リニア側道測量設計業務 3000万円
- ・ 町民交流広場建設工事 1億9600万円
- ・ 増穂小窓ガラス飛散防止工事 1531万円
- ・ 増穂中建具アルミ化工事 4963万円
- ・ (仮称)新ますほ児童センター建設設計等 1569万円
- ・ 峡南医療センター企業団出資金 2500万円



野外活動の拠点として利用される旧五開小



窓ガラス飛散防止が施工される増小



リニューアルされるかじかの湯



競技場建設現場(町民交流広場)



建具が耐震化される増中

(前年比%)

平成28年度特別会計予算

国民健康保険	20億9756万円 (0.2)	営農飲雑用水事業	373万円 (0.1)
後期高齢者医療	3億7033万円 (4.2)	箱原農業集落排水事業	1596万円 (17.1)
介護保険	18億1154万円 (0.7)	鹿島財産区	9万円 (84.0)
介護サービス事業	1億199万円 (2.9)	カラマツオ外三十山恩賜林保護財産区	53万円 (0.6)
奨学金	72万円 (0.0)	峡南地区ことばの教室共同設置	173万円 (0.0)
簡易水道事業	2億3042万円 (11.2)	峡南地区充指導主事共同設置	88万円 (2.7)
下水道事業	7億9311万円 (3.0)	水道事業会計 収益的支出	2億1320万円 (1.6)
		資本的支出	1億812万円 (2.0)

予算特別委員会

一分科会報告

総務産業建設分科会

【上下水道課】

問 下水道事業業務継続計画策定業務とは何か。

答 災害や事故などにより下水道施設が被害を受けても、重要な業務を中断させず、中断しても早期に復旧させるため、地域防災計画と整合性を持った下水道独自の計画である。

問 富士橋の架け替えが実施された場合、水道管の移設補助があるのか。

答 占有物件であるため、補助や補償はないと考えるが、今後県と協議したい。

【財政課】

問 マイナス金利による公債費への影響は。

答 借入れ利率が低くなるため、今後、借入れを行う場合は、利息の負担が軽減される。

【建設課】

問 リニア側道測量設計の内容は。

答 27年度に基本設計を行ったが、28年度は詳細設計を行う予定。

問 町民交流広場建設工事

の内容は。

答 人工芝、サッカー場を主に行う予定。

【総務課】

問 職員メンタルヘルス診断等委託業務とは。

答 臨時、嘱託職員を含む全ての職員を対象にストレスチェックを行い、結果によりケアが必要な職員がいる場合には、専門医による相談や受診につなげている。



災害時に使われる備蓄品

【税務課】

問 固定資産税の歳入額が前年度より増の原因は。

答 山王地区の宅地分譲や新築家屋の増加である。

問 滞納処分の実施状況は。

答 預貯金の差し押さえ、差し押さえ物件の公売などによる換価を行っている。

【商工観光課】

問 コミュニティビジネスモデル事業起業支援補助金の内訳は。

答 起業1年目の補助2件、2年目の補助農家民泊事業1件、3年目木工業、農家民泊事業2件の補助予定である。

問 観光費が前年度より1千万円ほど減となっているが。

答 桜回廊工事が一段落したこと、かじかの湯への補助金が廃止になったためである。

【防災課】

問 防災ラジオを随時購入できないか。

答 町限定の製品で、注文生産のためできない。

問 災害用備蓄品の購入内訳は。

答 アルファ米(非常用保存食)5400食、飲料水(2リットルボトル)1800本、簡易トイレ袋1万枚を購入する。備蓄品は町内3施設に保存し、今後消費期限が迫った在庫品は各区に無料配布する計画。

【農林振興課】

問 やまなし農業・農村総合支援事業補助金の内訳は。

答 新規に組織する協議会が、捕獲された鹿、猪を解体するナイフ消毒槽付手洗器の購入経費の補助。

【企画課】

問 婚活事業の詳細は。

答 年3回の開催を予定し、婚姻後町内への居住に繋がるような施策を取り入れ実施したい。

【町民生活課】

問 ホリデーバスの利用実績は。

答 月平均の利用者は、約160人である。

教育厚生分科会

【福祉保健課】

問 社会福祉協議会の委託業務に対し、町は評価する立場にあるが、どのように行っているのか。

答 スクラップアンドビルドで事業を精査している。来年度予算に反映できなかつたが、再来年度予算には精査した事業の内容を盛り込みたい。

問 障害者相談支援事業委託の内容は。

答 峡南5町で委託している。市川三郷町にあるくみ会の相談支援センターに専門職員があり、365日24時間相談に応じてくれる。

【子育て支援課】
問 ひとり親医療費の受給者は。

答 101世帯244人。

問 保育所の正職と嘱託職員の違いは。

答 嘱託の保育士も正職の保育士と同じだけの仕事をしている。正職員は、夜の会議や教材づくりも率先してやっている。来年度は嘱託職員のインフルエンザ予

防接種費用の助成も行う。

問 新ますほ児童センターに関する予算は、建設地が決まらないのに計上する必要があるのか。

答 平成31年4月の開所を目標にしている。来年度早々に土地を決めて進めなければならぬ。今でも予定より遅れている。敷地調査や地盤調査、設計料など委託料の単価設定は、国・県の単価基準で積算し、当初予算に計上した。

問 山梨県産後ケア事業について、利用がなくても負担金は払うのか。

答 利用後の精算なので、利用しなければ負担金はない。1泊3万3900円、県と町が1万3900円ずつ助成し、自己負担金は6100円。生保と非課税世帯は、自己負担分も町が助成する。

【町民生活課】
問 環境衛生委員など報酬の内訳は。

答 地区の委員長17人に1人年間2万円、委員250

人に1人5000円、環境審議会委員13人に1人年間3000円の報酬。委員長は、地区の代表としてリサイクルステーションの管理や会議への出席をしている。

問 リサイクルステーション設置工事4カ所は。

答 山王地区と長澤火の見跡地、県営鵜沢団地周辺の町有地2カ所の予定。

【生涯学習課】
問 放課後子ども教室の回数。

答 大自然体験会が1泊2日、わくわく科学教室が年5回、富士川カッパ将棋大会、天文教室を年に1回開催している。

問 新町民会館の敷地面積とホール収容人員、また、借りている国有地は、今後どうするのか。

答 敷地面積は4770㎡、駐車場150台、大ホール収容人員は約350人。国有地は取得する方向で考えており、現在、財務事務所と交渉している。

問 社会体育施設の歳入の使用料と手数料の内訳は。

答 殿原スポーツ公園20万



150台の駐車場完備の新町民会館

【教育総務課】
問 町単教職員の内訳は。

答 講師21人、特別支援員4人、学校司書4人である。

問 増穂小の給食室水源の単独化工事の詳細は。

答 増小の水道システムは、屋上高架にタンクがあり、そのタンクにいったん水を汲み上げ、落として使っている。給食室も同様の水道システムだが、塩素が蒸発するなど給食の安全性に支障を来すことから、給食には水道を直接給水する工事を行う。



安全な水を供給（増小給食室）

予算特別委員会・全体会

平成28年度予算案

賛成多数で可決

去る3月11日の本会議において、予算特別委員会に付託された議案について、3月16日、17日、22日に委員会を開き、慎重な審査を行った。

全体会での主な質疑

問 天神中條20号線改良工事費200万円とあるが、隣接地権者の了解は得られているのか。

答 保留していた工事ではしているが、了解の回答は得ていない。

問 リニア側道設計費の財源は。

答 特定財源はない。

問 防災の保存食でアレルギー食の対応は。

答 対応済み。

問 予算が当初比較で2億円、公債費が6000万円増えているが。

答 予算は収入見込みの95%で見積もった。経常経費

減額修正案提出

提出者 川口 正満
「提案理由」

利用する町民の声を広聴し、多面的に検討し子どもの安全性を優先に適地を定めるべきで、新ますほ児童センター整備検討委員会の答申を待つて予算を定めるべきである。

賛成討論 斉藤欽也

児童クラブは子どもが放課後移動し、親の迎えがあるまでの安全性が非常に大事である。いろいろな所を視察したが、多くのところが学校内や隣接する児童館や公民館などでやっている。今回の児童クラブ移転は、31年までという期限はあるが、本町でも31年からは、学校内に空き教室が3つ増えることになる。学校周辺の再検討も含め、検討委員会の答申を踏まえた当局の考えを聞き、臨時会で決定する時間はまだ十分ある。

減額修正案

採決結果

賛成

川口 正満・青柳 光仁
堀内 春美・斉藤 欽也

反対

小林有紀子・深澤 公雄
秋山 勇・鮫田 洋平
長澤 健・秋山 貢
市川 淳子・井上 光三
小林 進

平成28年度予算

採決結果

賛成

小林有紀子・深澤 公雄
秋山 勇・鮫田 洋平
長澤 健・秋山 貢
市川 淳子・井上 光三
小林 進

反対

川口 正満・青柳 光仁
堀内 春美・斉藤 欽也

反対討論 秋山 貢

建設候補地は確定していないが、リニアの建設計画に伴い児童センターは平成30年12月までに解体せねばならず、移設に遅れがでることを利用して児童や保護者など、町民が不利益を直接的に被ることは避けなければならぬ。

建設場所は議会が十分に開わりながら決定することは不可能ではない。場所が決まった時には、速やかに事業計画が実行できるように予算をしっかりと確保し、環境を整えておくことが必要だ。

採決には斉藤正行議長、神田智特別委員長は中立公平の原則で入っていません。

年金生活者等支援臨時福祉給付金

補正後の総額79億1725万円

5700万円

補正質疑

問 土地開発基金土地取得費の計上の内訳は。

答 町有地売却の公募1件で取得費998万円に対し6回にわたり値下げして259万円で売却。差額分を含め、基金へ買い戻し金を繰り入れた。

問 情報系ネットワーク関連2件の内容は何か。

答 マイナンバー制度の導入に伴い、役場業務のインターネットとLGWAN（総合行政ネットワーク）を分離するための業務委託料と、それらの機器を購入する費用。

問 国の交付金5700万円により該当する年金生活者などに3万円が給付されるもの。ほか関連する役務費・委託料などである。

答 国の特別交付税から充当される。

人事（敬称略）

公平委員会委員

任期

平成28年5月18日～

平成32年5月17日

折居 正彦（長澤）

固定資産評価審査委員会委員

任期

平成28年5月18日～

平成31年5月17日

依田 章（鯉沢北）

芦澤 勲（最勝寺）

神田 正治（巻米）

選挙管理委員会

任期

平成28年4月1日～

平成30年5月17日

委員

秋山 義宏（青柳町）

折居 和雄（長澤）

補充員

秋山 稔（巻米）

久津間 恵理子（青柳町）

齋藤 光江（中部）

一般会計 主な補正予算

(歳出)	土地開発基金土地取得費	879万円
	情報系ネットワーク強靱化対策委託費	780万円
	ネットワークシステムの機器購入費	2214万円
	年金生活者等支援臨時福祉給付金事業費	5959万円
	峡南医療センター企業団運営負担金	1486万円
(歳入)	県支出金 放課後児童健全育成事業	556万円
	土木費国庫補助金	707万円

民間木造住宅耐震化事業の予定戸数と実施された戸数

	耐震診断戸数	改修戸数
27年度当初予定	74戸	3戸
27年度に実施した件数	18戸	1戸

問 国の交付金5700万円により該当する年金生活者などに3万円が給付されるもの。ほか関連する役務費・委託料などである。

答 国の特別交付税から充当される。

問 放課後児童健全育成事業補助金の減額の理由は。

答 当初の予算計上時の負担率は県が3分の2、町が3分の1だった。27年度に負担率が改正され、国、県町がそれぞれ3分の1となったため。

問 土木費国庫補助金が減額だが、主な事業と、予定に対して広報・啓発活動を十分行ったか。

答 民間木造住宅耐震改修事業で90万円減、耐震改修促進計画更新事業で114万円減となった。広報活動や対象住宅の戸別訪問も県と協力して実施したが、このような結果だった。

新トレーニング室指定管理者が決定

指定管理者 (株)ブルーアースジャパン

契約期間 平成28年4月1日～平成33年3月31日

問 町の施設を民間商業施設の中に作るの初めてのケースであるが、その契約内容は(株)フォレストとの契約期間は10年、内装部分と固定資産税相当額を町が負担し、共益部分は指定管理者が負担する。

問 ネーミングライツ(命名権)の話があったが。

答 ブルーアースから名称は「ブルーアースMY BODY 富士川」金額は年4万円との提案を受けている。

【社会体育施設条例の改正】
問 トレーニング室の利用料が310円から430円になった理由は。

答 4月から指定管理者に任せることから料金の見直しを行った。新たな施設は専属トレーナーの常駐、機器の操作法の指導、個人プログラム作成など充実したものである。

問 町民体育館のサブアリーナの使用料が310円から430円になった理由は。

答 これまでの310円はトレーニング機使用料であった。今後サブアリーナは部屋全体を自由に使えること

から、アリーナの面積などで算出した。

問 この施設移転はリニアに伴うものであるが、移転補償費の交渉はどうなっているのか。

答 移転は先行して行ったもので、体育館など全体の補償交渉の中で行っていく。



ブルーアースMY BODY富士川 (写真 ブルーアース提供)

【財産貸付】

五開小学校跡地を青少年の野外活動拠点として、横浜市に拠点を置くNPO法人ウツドクラフトに貸し付ける。

【市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更による規約変更】

新たに入札参加資格の審査事務を追加。

【過疎地域自立促進計画の追加変更】

特別措置法の執行期限が5年間延長され、事業追加をした。

【町道路線の認定】

国道の一部、追分交差点から、おかめ館交差点までを町道とする。

【議員定数を定める条例及び委員会条例を改正】

常任委員会数の変更に伴う委員定数の変更である。

【条例制定】

- ・行政不服審査会条例
- ・法務専門職員の任用等に関する条例
- ・行政審査法の全部改正により制定、その実行のため専門知識を有する者の任用についても定めた。
- ・農業委員会の委員及び農地利用最適化推進委員の定数条例
- ・農業委員の選出が選

挙から任命制に変わることに伴うもの。

問 審議会構成の中に町議会議員とあるが、上位法令に規定されているのか。

答 法律で制定されているものではない。水道料金と下水道の審議会が一つになることから過去の経緯を踏まえ構成員とした。

重度心身障害者医療費 児童窓口無料化復活



保育料の負担軽減を

【条例改正】

- ・重度心身障害者医療費助成条例の改正
- ・4月1日から18歳以下の窓口無料化。
- ・町人行政の運営等の状況の公表に関する改正
- ・問 人事評価を公表するとあるが、具体的な公表の仕方は。
- ・答 具体的にはこれから他自治体や県を見ながららつめ

ていく。

問 評価の客観性の確保は。

- ・答 人事評価制度は各職員が年度目標を立て、それを評価するものであるが、目標設定の妥当性やその評価の客観性確保、制度の充実に時間が必要。
- ・職員給与条例の改正
- ・町長等の給与及び旅費、議員の報酬等に関する改正
- ・人事委員会勧告により、平均給与と改定率0.4%引き上げ
- ・職員勤務時間休暇等に関する改正
- ・行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整備条例
- ・税条例の改正
- ・個人番号記入欄を削除。
- ・特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担額等に関する条例の改正
- ・国による保育料負担軽減策。
- ・保育の必要性の認定に関する条例改正
- ・職員定数条例及び証人等の実費弁償に関する条例の改正
- ・農業法の改正に伴うもの。

【28年度予算総括質疑】

- ・問 太陽光発電設置補助金は、町内・町外の区別があるが、町外への流出を防ぐことも必要である。区別を撤廃してはどうか。
- ・答 太陽光発電設置補助金は新エネルギー導入を大きな目的とし、合わせて町内転入の動機付けを目的としてきた。今年から定住奨励金制度を設けたので、周辺市町村の動向を見ながら検討する。
- ・問 町長は所信表明で、地方創生交付金について梯子を外された思いであると述べたが、昨年これを使い、学校給食費の補助やホリデイバスの運行を開始した。単独でも継続することだが、補助内容を見直す勇氣も必要ではないか。
- ・答 最低でも5年はあると思っていた。とはいえ、給食の半額負担は子育ての応援のためにも必要と考え実施したものであり、削れるものを削りながら続けていきたい。
- ・問 地域力創造交付金は、各地区に自由に使うてくたさいという形で交付しているが、使い道などの検証はしているのか。
- ・答 第一次総合計画で地域力向上のため制度化した。検証はしていないが使途報告は受けている。各地区ともそれぞれ工夫して地域活動に使っている。縛りをなくし貯金もできるので、長期的視点に立った公民館建設などの計画もできる。今のまま続けていく。

一般質問

まちの課題を問う

問 地元木材を活用した
公共施設建設は



長沢けん 議員

答 本庁舎等に活用を
検討する



児童センター 子どもたちの安全を考慮して代替地選定を

問 林業従事者の雇用、町有林の活用は。

農林振興課長 峡南森林組合を事業主体に現在の従事者数からの増員を期待。林地調査を実施し適正な利活用を検討している。

問 県有林の活用、整備についての考えは。

農林振興課長 「おもてなし森林景観創出事業」を県と連携して行っている。

問 地元木材を活用した公共施設の建設は。

総務課長 「富士川町内の

公共建築物等における木材の利用促進に関する方針」に基づき、本庁舎、体育館および保育所などに地元木材の活用を検討する。

問 五開地区にもみじを植樹する考えは。

商工観光課長 大柳川流域一帯にもみじの補植を行い、新たな散策ルートの設置を予定している。

まずは児童センター候補地は

問 新ますほ児童センターの規模・機能は。

子育て支援課長 センターとしての機能、必要最低の敷地面積は約2800㎡。

問 小学校付近に建設してほしいとの保護者の声を重く受けとめるべきだが、見解は。

町長 検討委員会で、現在の児童センター付近の3カ所を検討していただいている。

問 増穂小学校のすぐ西に代替地登録がある。安全面を考えるとリア沿線より、学校付近のほうがよい。他の場所の検討は。

子育て支援課長 増穂小北の文化ホール周辺から、いろいろな土地を検討してきた。第3回目の検討委員会で検討していただく。

投票率の向上は

問 若者の啓蒙についての取り組みは。

選挙管理委員会書記長 増穂商業高校で出前講座など、主権者教育に取り組んでいる。

問 町内の高校やフォレストモールなど、商業施設への投票所増設の考えは。

選挙管理委員会委員長 当日投票所は19カ所あるが、集客施設等での開設は、現在の段階では不可能と考える。期日前投票所は、技術的・費用的・秘密保持の面での問題点を検討していく。

問 投票立会人を、多くの町民に関わってもらおう考えは。

選挙管理委員会委員長 適正な管理執行体制確保を前提に、公募について選挙管理委員会で協議したい。

問 子どもを危険な場所に置いていいのか

答 地域バランスの問題である

堀内春美 議員



問 まずほ児童センター候補地が、3カ所に絞られた基準は何か。
子育て支援課長 児童が安全に健やかに過ごせ、利用しやすい場所であること、小学校を中心に南に児童クラブがあることから、現地で周辺を基準に整備検討委員会での協議をしている。
問 児童センターを造る最大の目的は、児童を保護者に手渡すまでの間、安心・安全に過ごせる場所でないければならない。この3カ所は小学校から800m以上離れ、この道路が非常に危険であること、また、この

候補地がリニアの北側にあり、工事が始まると工事用ダンブが激しく行き交う場所になる。児童の安心安全を守るのが目的なのに、かえって危険な目に合わせるようになると思うが。
子育て支援課長 小学校を中心に北側を探したが、条件が合わないということで、今の3カ所を候補地として挙げています。



800m離れた児童センターに向かう児童たち

問 第1に児童の安全を考えて場所を選定しなければいけないのに、リニアが通る近くにセンターを造り、リニアが人体にどんな悪影響を与えるかわからない段階で、これから成長する子どもたちを危険な場所に置くことに納得がいかないが。
町長 リニアの実験線の周辺の人たちも、磁場を危惧する人もいたが、今はほと

んどいない。
問 何年か経過しなければ、電磁波が人体に悪影響を及ぼすかは出てこないと思う。現実にはこの町で子どもを育てるのは危ないので、他の町へ引っ越すという人も出てきている。子どもたちが安心して過ごせる場所という観点から見ても、今の候補地は適切ではない。この児童センターはいつまでに完成させるのか。
子育て支援課長 平成31年3月までである。
問 遑って計算してみても、今年急いで測量設計に入らなくても十分間に合うと思うが、もっと児童にとって安心安全な場所を慎重に検討するべきではないか。2回くらい開いた検討委員会で、性急に決めるべきではないと思うが。
町長 検討委員会で協議をいただき、再度総合的に判断しながら最終的な候補地を決める予定でいる。

問 新町民会館は飲食可能とできないか

答 全館飲食を可能とする

青柳 光仁 議員



問 2月に新町民会館の利用申込みをしたが、パンフレットには「全館飲食禁止となります。ご協力ください」とあった。

利用者の立場で検討すべきと考えるが、管理者の配置や飲食など今後の管理運営計画は。

生涯学習課長 管理人も配置し、飲食についても全館可能とする。

問 「鯉沢分庁舎の各課を現町民会館等へ移転し、移転費用も予算計上された」と新聞報道された。議会には事前通知がなかったが、

分庁舎の各課の移転計画は。
町長 分庁舎は建築後48年を経過し、耐震基準も低く危険な庁舎となっている。東別館や現在の町民会館の内部を改修し、秋ころまでに移転させたい。分庁舎には防災無線設備もあり、すぐに取り壊すのではなく跡地利用も検討していく。

問 現町民会館は図書館だけが残り、利用者の中心は小中学生である。図書館司書が1人常駐となるが、職員が移転してくる秋まで管理人を置くべきと考える。司書の女性に防災・防犯管理もさせるのか。

財政課長 館内全体の管理は必要最小限で予算化し、司書と兼務は考えていない。今後、所管の生涯学習課と協議する。

峡南医療センターへの財政支援

問 峡南医療センター企業団への今後の財政支援について、町長の方針は。

町長 企業団を存続してい

くことは、開設者としての責務と考えている。資金ショートしないよう単年度貸付金も検討したい。

問 私も財政支援は必要と考えるが、昨年12月に両町で支援した7億3千万円の貸付申請がいつあったのか。
福祉保健課長 昨年の12月18日であった。

問 貸付審査要綱も12月18

日で告示されたが不備が多い。また、町民の税金などで、なおかつ高額な貸付なので、慎重な審査が求められる。貸付審査会はいつ開催し、貸付決定をいつ通知し、契約書は何日付で取り交わしたのか。
福祉保健課長 すべて12月18日付けで行った。

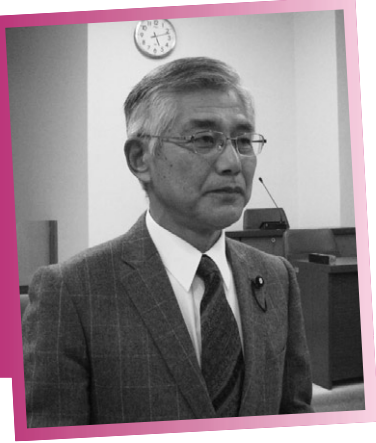


町民の交流の場 新町民会館

問 検討委員会公開と情報の即時開示を

答 公開し会議録もHPで公表する

川口正満 議員



問 町づくりのため委員会などは、町民が内容と経過情報を得られると、風通しがよくなり関心が高まる。町民との問題意識や、方向性の一体感、連帯感を持つよう、委員会を傍聴できるように公開し、会議録を公表できるように検討できないか。
総務課長 庁舎整備など将来にかかわる委員会は次回から公開する。検討資料についてもホームページや総務課において、文書により公開する。会議運営の透明性や公平性の確保、審議状況を明らかにし、町政に対する町民との協働の推進を

図るため、会議録の公表は必要で、会議終了後、速やかに原則公表する。

リニアトンネルで大柳川の水量は

問 昨年末に公表されたJR東海の水に関する報告書では、トンネルにより大柳川渓谷の水の減量が予想され、農業用水や生活用水への影響が心配される。地下水や水源に影響がある場合、影響を回避する対策や、代替水源の確保など事業者にどのような代償を求めるか。
企画課長 畔沢川5%、南川25%、大柳川農業用取水堰が20%減少するが、環境保全措置を実施する。水源の影響については工事の前途中、後に、流量等を監視し濁水状況など持続的な調査を要望する。生活に支障がある場合、事業者の責任で速やかな対策を要求する。JR東海が支障ないように工事し、支障が生じれば、代替措置または金銭補償を要求する。

問 リニアは、さまざまな未知の危険性がたくさんあり、町は町民と土砂災害特別警戒指定の十谷地区の安全安心を守るために、県にも毅然とした対応をお願いしたい。静岡県は大井川の減量予測に関し、環境保全連絡会議や水資源検討会を立ち上げ、静岡市などは条例の制定や意見書を提出。南木曾町では対策協議会で事業者とも事前協議している。町でも

同じような対応策をとれないか。
企画課長 リニアは前述地域を通らないので影響はないと認識している。地域に支障がある場合は、事業者の責任で速やかな対策を要請する。大柳川等の水量減少については、工事前に十分な環境保全措置計画と、施工面での防止策強化を要望していく。



水量減少が懸念される観音滝

問 六次産業化戦略の策定は

答 地域協議会を立ち上げて策定する

井上光三 議員



問 国は六次産業化支援策として、市町村の戦略方針を打ち出している。本町での六次産業化戦略の策定計画は。

農林振興課長 関係する個人・団体との意見交換や研修などを推進し、関係機関とも連携して地域協議会を立ち上げ、戦略を策定していく。

六次産業化補助金制度は

問 六次産業化の円滑な推進のため、町独自で補助金制度が導入できないか。

農林振興課長 これまで県

の支援事業などを取り入れてきた。今後も、六次産業化戦略を策定することで、国・県の補助金採択が優位になる。町独自の補助金制度は考えていない。

子育て支援基金の設立は

問 子育てを地域全体で取り組むような支援環境を作るため、「子育て支援基金」が設立できないか。

子育て支援課長 子育てを地域ぐるみで支援することは重要だが、厳しい財政状況の中で基金設置は難しい。今後地域と行政が一体となった子育て支援活動を実施していく。

「子ども条例」が制定できないか

問 子育ての富士川町を前面に押し出すために、富士川町子ども条例が制定できないか。

子育て支援課長 富士川町子ども・子育て支援事業計画に基づき、子どもの利益

が最大限に尊重されることを基本に活動を行っている。今後も計画を実行することで、子どもの人権を守り、健全な成長を保障していく。

富士川町ガイドブックの作成は

問 観光振興を目的とし、町民が情報を共有できるような富士川町ガイドブックが策定できないか。

商工観光課長 町の観光情報はホームページや、各種パンフレットなどで発信している。今後もこれらを活

用し、目的にあったガイドマップを作成していく。

十谷、高下間の道路整備は

問 三筋の観光振興を進めているが、穂積筋 五開筋（十谷、高下間）を結ぶ道路の整備が不十分ではないか。

建設課長 当該道路は、年間を通じて車両が通行できるよう整備をしている。トレッキングコースや観光ルートとしての利用は可能である。



六次産業化を進める「日出づる里活性化組合」加工直売所

問 学童保育を学習支援の場に

答 そよ風教室につなげる

小林有紀子 議員



問 今、国や県が「子どもの貧困対策」に本腰を入れている。支援を必要とする方に各所管が連携して対応し、背後にいる子どもに支援が届くよう、全庁あげて職員意識改革が必要と考えるが、

町長 職員の意識や体制は整っている。福祉面で各課がさらにきめ細な業務と対応ができる役場を目指したい。

問 家庭学習が困難な子どもや、貧困などで支援が必要な子どもに寄り添い、心の居場所を兼ねた学習支援の場として、学童保育を活用し、学力向上フォローアップ事業「そよ風教室」に

つなげる考えはないか。

教育総務課長 学習支援が必要な場合には、つなげていきたい。

町立図書館の建設場所は

問 国のシビックコア地区整備計画との合築は、大きな経費削減であり、公共施設再配置バランスの観点や文化を継承していく上で合築の意義は大きいと考えるが、

町長 国の合同庁舎と合築することで、用地取得をはじめ建設費用が抑えられることや、平成18年からの懸案事項であるシビックコア地区整備事業が実現できることから、現在、国土交通省関東地方整備局と協議を進めている。

問 図書館基本構想の中に、子育て支援図書館として、読書を子育て支援の一環として明記している。赤ちゃんが生まれた時のお祝いとして、絵本をプレゼントするブックスタート事業は、図書館基本構想の一翼を担

うものと考えているが、実施する考えは。

生涯学習課長 図書館建設が具体化した段階で検討する。

中山間地域の環境整備は

問 里山整備や情報発信、特産品開発などを積極的に

担う「地域おこし協力隊」の受け入れは。

企画課長 今後5年間で導入する。

問 中部・五開地域の光ファイバー事業の財源確保は、**企画課長** 過疎債を充当したい。



「預かる」から「学びの場」へ進化している学童保育

問 児童センターを現在地につくる理由は

答 南に児童クラブがあるので北側に



斉藤 欽也 議員

問 町長は所信で現在地周辺と明言。子育て支援課長は、場所は答申が出てからと言っているが。

町長 検討委員会に丸投げお任せとはいかない。町の考えとして現在地周辺3カ所に絞った。答申後、総合的に検討し建設地を決める。

問 わざわざ離れた地域につくる必要はないのでは。

町長 学校に隣接した所が理想だと思うが、「南に南児童クラブがあるので北側にはない」との議論がある。小学校周辺に適地がないので、現児童センター周辺にと検討委員会に提案している。

公共施設再配置は新たに土地を取得するのではなく、町有地を利用し整備統合することが基本。児童センターは必要であるが、空教室も3室増える。学校給食がセンター方式になれば給食室も空く。本庁舎の整備、役場周辺の利活用も合わせ、見直すべきでは。

町長 小学校に全部集約すると、南児童クラブの子どもを入れてあげれない。南を入れると4室必要。施設は1つに集約するより、利用者のことを考えると、南北に分散させたほうが今後のためになる。

問 5、6年先には、庁舎や増穂商業跡地活用の問題がある。児童館を含め全体構想を練り直すべきでは。

町長 長期的視野で考えなくてはならないが、現状への対応も必要となる。理想論でいけば学校の配置も保育所も同じことがいえる。

今後総合的に判断し適地を決めたい。

峡南医療センターは

問 健全経営には、医療資源の集約と機能分化が必要。市川三郷病院を一般病床にするのは、機能の分散化ではないか。

町長 計画通りいかなかった。当面は術後の患者を移動し、市川三郷病院の稼働率を上げていく。

問 2500万円を4年間

出資するとしたが、町の金を出さないという考えと相反するのでは。

町長 赤字を補填する考えは今でもない。資金不足比率の改善資金である。

町民図書館は

問 町民図書館・シビックコア計画の年度目標は。

町長 各省庁のすり合わせ段階。国で予算化されていない。29年度予算化を目指す。



英語でリズムあそび（児童センター）

組合議会報告

各広域行政組合の予算を可決

平成28年度会計予算予定損益計算書

医業収益・事業収益	42億2236万円
医業外収益・事業外収益	4億7894万円
収益合計	47億0130万円
医業費用・事業費用	47億7721万円
医業外費用・事業外費用	1億5553万円
費用合計	49億3274万円
経常損益	2億3144万円

・補正額
 ・収益的収入及び支出
 ・病院事業収益
 ・資本的収入及び支出
 ・病院事業資本的収入
 ・(企業債、県支出金)
 ・病院事業資本的支出
 ・(建設改良費)

1億5457万円
 949万円
 949万円

臨時会

2月26日、第1回臨時会が開催され、平成27年度補正予算および平成28年度会計予算、条例改正案2件を原案のとおり可決した。

峡南医療センター企業団

平成28年度峡南広域行政組合負担金

会計名	総予算	富士川町負担金
一般会計	17億851万円	3億7094万円
介護保険特別会計	2億1568万円	0
峡南ふるさと市町村圏特別会計	1593万円	0
合計	19億4021万円 (前年比0.8%増)	3億7094万円 (前年比4.0%減)

平成28年度富士川町負担金(内訳)

会計名	総予算
一般分等負担金	3億3770万円
町電算システム負担金	2649万円
広域ネット負担金	675万円
合計	3億7094万円

3月22日に第1回定例会が開催され、条例制定4件、条例廃止1件、平成27年度補正予算2件、平成28年度予算3件を原案どおり可決した。

峡南広域行政組合

平成28年度三郡衛生組合負担金

会計名	総予算	富士川町負担金
一般会計	1919万円	322万円
し尿処理事業	2億3473万円	4295万円
火葬事業	1億9020万円	1852万円
合計	4億4412万円	6469万円

3月29日に定例議会が開催され、全議案を原案のとおり可決した。
 し尿処理事業特別会計は、前年度より2429万8千円の減、公共下水道の普及により、年々減少している。
 火葬事業特別会計は前年度より1475万2千円の減、平成26、27年の2ヶ年で実施した火葬炉修繕工事が完成したため減額となった。

三郡衛生組合

平成28年度中巨摩地区広域事務組合負担金

会計名	総予算	富士川町負担金
一般会計	4205万円	318万円
ごみ処理事業	12億144万円	8251万円
公園事業	889万円	79万円
老人福祉事業	3824万円	329万円
勤労青年センター事業	5164万円	423万円
し尿処理事業	2億2995万円	0万円
合計	15億7221万円 (前年比 42.0%)	9400万円 (前年比 4.0%)

3月28日に定例議会が開催され、条例改正1件、平成27年度補正予算5件、平成28年度予算6件、同意1件を原案のとおり可決した。
 28年度予算総額、町負担金の減額の主な要因は、焼却施設の延命工事が終了したため。

中巨摩地区広域事務組合

第1回臨時議会

2月2日、第1回臨時議会が開催され、専決処分承認案1件、工事請負変更契約締結案1件について、原案のとおり可決した。

専決処分の承認

一般会計補正予算の内容

- ・降雪による除雪作業経費 138万円

工事請負変更契約締結案件

- ・鯉沢中学校屋内運動場アリーナ他
天井改修工事請負変更契約締結

変更前 65,448,000円

変更後 63,601,200円

(1,846,800円)



改修された体育館で行われた入学式

議会改革特別委員会研修会

議会改革特別委員会では議員力アップを目指して、3月1日、山梨県町村議会議員セミナーに参加した。(道の駅富士川の水防対策室)

講師の山梨学院大学法学部・大学院研究科長の江藤俊昭先生から「議会基本条例のポイントと議会からの政策サイクル」、「住民自治の根幹としての議会を作動させる」をテーマに、

議会基本条例の意義

地方政治の時代の住民自治の進化への対応

について講義を受けた。当日は県内町村議員約80人の参加があり、大変勉強になった。



研修風景

議会のおもな活動日誌

2月	2日	議会改革特別委員会 タブレット端末導入検討委員会
	5日	議会改革特別委員会ICT推進部会 タブレット端末導入検討委員会
	10日	議会改革特別委員会
	23日	議会改革特別委員会ICT推進部会 議会運営委員会
	26日	議会運営委員会・全員協議会
	29日	議会運営委員会
3月	2日	全員協議会 広報常任委員会
	7日	議会改革特別委員会議会基本条例策定推進部会
	8日	議会改革特別委員会ICT推進部会
	8日	町制功労者表彰式
	10日	増穂中学校・鯉沢中学校卒業式

8人のモニターさんから 感想・ご意見を 頂きました

K.Kさん
QRコードや目次が
表紙に記載され、
見やすくなった。

K.Mさん
実際に直面している内容
で興味深かった。随時進
展を報告してほしい。

M.Tさん
ホリデーバスを
子どもと利用して
みようと思った。

T.Sさん
ネットを利用した地域
医療・防災なども掲載
してほしい。

K.Yさん
写真を効果的に使って、
分かりやすく編集されて
いて、次回も楽しみ。

F.Fさん
富士川病院で働く
先生をたくさん
要請してほしい。

M.Hさん
地区懇談会は良い企画。
要望に応えられるよう
努めていただきたい。

K.Iさん
見やすい分かり
やすい誌面づくり
をしてほしい。

1年間ありがとうございました。

議会広報モニター募集

町議会では、町内在住の20歳以上の方（町職員・町議会議員とその家族を除く）で、議会広報の批評や提言、情報の提供をしていただけるモニターを次により募集します。

- ・募集人員 10人以内
- ・任期 1年
- ・締め切り 平成28年5月20日
- ・お問い合わせ・応募先

議会事務局 0556(22)7211

寺子屋陶芸教室

寺子屋陶芸教室は、創部されてから約40年経ちました。存続するのに困難な時期もありましたが、諸先輩方のご努力で今があります。

現在、部員数18人、90歳代の方から、主婦、お仕事をされている方、リタイヤされた男性の方等、賑やかに和気あいあいと楽しい教室で作品作りをしています。教室は、毎月第1週、第3週の水・木曜日の昼1時から3時半まで、また、水曜日は夜の教室もあり、7時から9時半までとなっています。

おのの作りたい物を自由に作陶しますが、分からない時は、先輩たちがアドバイスをしながら完成させます。

陶芸にはいろいろな過程があり、便利な現在とは対照的です。

- ①粘土で型を作ります。
- ②乾燥させます。
- ③窯に詰め、約800度で焼きます。



和気あいあいと楽しい作品づくり

夢に向かって...



窯だし

- ④絵付けや釉薬を施します。
- ⑤再度、窯に詰め、約1230度で焼成します。

このようにいろいろな過程を経て完成しますので、窯出しのときはいつでもドキドキで喜んだり、また失敗した時は反省して次回の作陶に生かします。

長い時間をかけての作陶ですので、本当に愛着があります。自分で作り上げた世界にたったひとつの作品たちは、毎年町の文化祭で展示しています。すべて思いのこもった力作なので、ぜひたくさんの方にご覧いただければと思います。

また、寺子屋陶芸教室に興味がある方は、お気軽に教室(旧町民会館南側)をご見学ください。

代表 石井七生



文化祭での展示

議会クイズ

問題1. 平成28年度一般会計予算町民一人あたりの金額は。

問題2. 新トレーニング室の名称は。

問題3. 27年度実施の耐震改修戸数は。

〈景 品〉 抽選で3名の方に図書券千円分を差し上げます。

〈応募要領〉 必要事項を記入の上、ハガキかメールにて応募ください。

・答え ・郵便番号 ・住所 ・氏名
・年齢 ・電話番号 ・議会だよりの感想

前回の答え

- (1) ラウンドアバウト方式
- (2) 杖
- (3) 道の駅富士川水防対策室



クイズの応募はこちらからでもできます。

〈宛 先〉 〒400-0592 富士川町天神中條1134
富士川町議会事務局 行

Mail : gikai@town.fujikawa.lg.jp

〈締め切り〉 平成28年5月末日(当日消印有効)

〈当選者の発表〉 景品の発送をもって当選と代えさせていただきます。